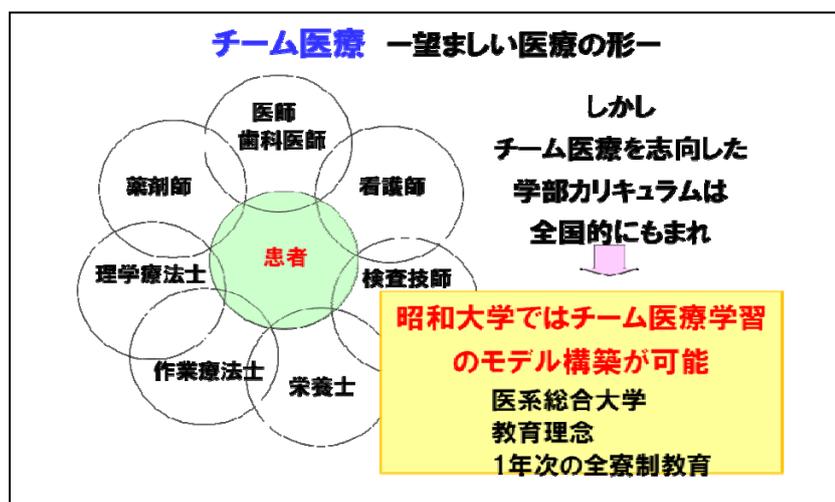


チーム医療教育の全国モデル 昭和大の学部横断カリキュラム

昭和大では、文部科学省の「地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム」（医療人 GP、平成 18 年度～20 年度）の支援を受けて、平成 18 年度から「チーム医療の有用性を実感する参加型学習」の教育事業を展開し、全国でも類を見ないチーム医療学習のための大規模なカリキュラムを構築し、実施しました。医学部、歯学部、薬学部（6 年制）、保健医療学部開始の学生が、チーム医療に必要な知識、技能、態度を段階的に習得するため、多くの参加型学習（PBL チュートリアル、体験学習など）を含む多様な学部横断型カリキュラムを全学的な取り組みとして積極的に実施しています。

【背景】

これからの医療は、チーム医療により、多くの医療スタッフが連携・協力して患者中心の医療を積極的に支援することが社会から求められています。しかし、従来の医療人教育では医療系の各学部（医学部、薬学部、歯学部、保健医療系学部など）の専門的教育が中心であり、チーム医療学習のカリキュラムを積極的に取り入れている大学は殆どありません。



昭和大は薬学部、医学部、歯学部、保健医療学部（看護学科、理学療法学科、作業療法学科）の 4 学部と関連施設として 8 附属病院を持つ医系総合大学です。1 年次は山梨県富士吉田キャンパスで 4 学部の学生が学部を越えて寝食を共にする全寮制が採用され、2 年次以降は東京都旗の台キャンパスの薬学部、医学部、歯学部、看護専門学校、大学病院が併置された環境で、他学部の学生と共に学習しています。このように昭和大はチーム医療学習にふさわしい環境を整備しており、大学の教育理念でも、学部の枠を超えて協力、連携し、医療人としての意識を共有し、それぞれの

専門性を理解できる医療の担い手の育成を目指しています。

昭和大学の特色

- ・**医・薬・歯・保健医療学部**からなる**医系総合大学**
(看護・作業療法・理学療法学科)
 - ・「**至誠一貫**」に基づく教育理念と創設80年の歴史
 - ・1年生は山梨県富士吉田で**寮生活・学部横断教育**
- ↓
- 各学部の学生、教員の学部間交流が日常的
(旗の台・洗足・横浜・富士吉田キャンパス)
 - ・**附属8病院** (約3000床:大学病院では日本最大)
多彩な臨床実習と各学部の学生受入れが可能

昭和大学の教育理念

他に類のない医系総合大学の長を生かし、専門領域の高度な知識と技能を身に付けるとともに、**学部の枠を越えてともに学び、互いに理解し合え、協力できる人材を育成する**。そして、その専門職にふさわしい人間性豊かな医療が実践できるような、高い倫理性と豊かな社会性を備え、生涯にわたって学習・研究を怠らず医療の向上に邁進する、**真の医療人たりうる資質を磨き上げる**。

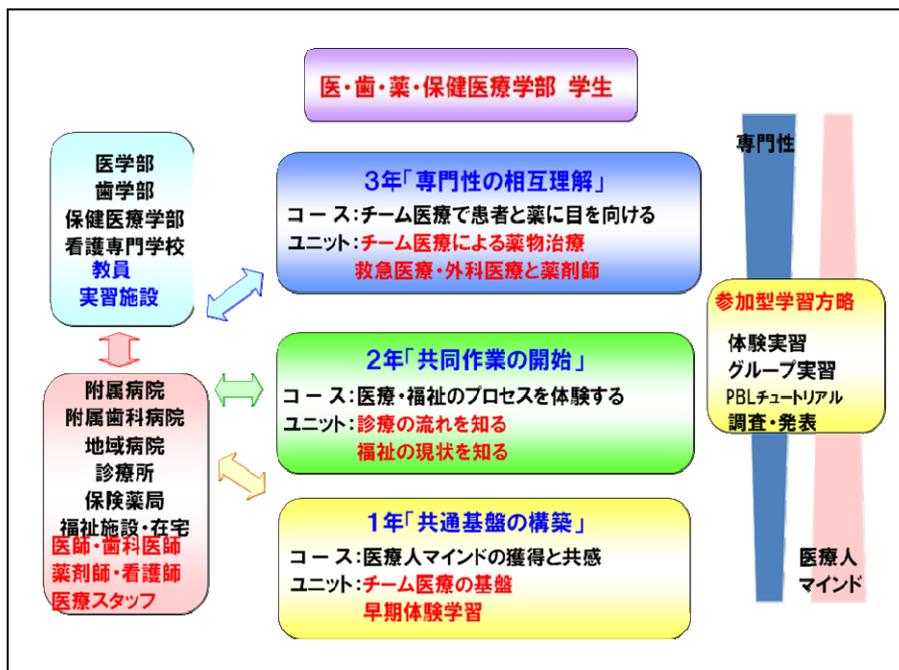
文部科学省の医療人 GP の支援は、上記のような医系総合大学としての昭和大学の特色を生かし、チーム医療で活躍できる医療人を育成するための学部教育を促進する大きな推進力となりました。1年生からの段階的なさまざまな学部横断型、参加型のカリキュラムを通して、チーム医療を構成する各職能の専門性を理解し、適切なコミュニケーションにより、患者の思いや医療チームの協力・協調の必要性を認識できる学生の養成を実施しています。

【チーム医療教育の概要】

チーム医療で活躍できる医療の担い手を継続的な学習を通して養成するため、全学部、附属医療施設、学外の病院・診療所、地域保険薬局、福祉施設などの協力のもと、学部合同のグループ討議や実習、病院や地域で

の体験学習などの参加型学習を各学年で実施しています。

学年が進むに従い、医療人としての倫理観や態度などの医療人マインドの醸成から、専門性の高い学習へ移行するようにカリキュラムを構成しています。すなわち、1年生は「共通基盤の構築」をテーマに「早期体験学習」「チーム医療の基盤」の2ユニット（科目）、2年生は「共同作業の開始」をテーマに「診療の流れを知る*」「福祉の現状を知る*」の2ユニット、3年生は「専門性の相互理解」をテーマに「チーム医療による薬物治療」「救急医療・外科医療と薬剤師*」の2ユニット、計6ユニット（科目）です。*の3ユニットは現在、新しく6年制となった薬学部学生を対象とした医療・福祉現場のチーム医療を学ぶ科目ですが、これらも学部横断科目にすることを計画しています。



これらユニットの中でも、1年生の富士吉田キャンパスと3年生の旗の台キャンパス・横浜キャンパスで実施される（「チーム医療の基盤」と「チーム医療による薬物治療」）、4学部約600人の学生が参加するPBLチュートリアル(Problem-based learning:問題基盤型学習)といわれる小グループ学習は、その規模、内容、チーム医療学習の有用性において、国内最大規模、最先端のものといえます。学部混合の約70グループに分かれ、1年生では医療倫理や福祉、健康に関わるシナリオ、3年生では代表的な患者症例のシナリオが提示されます。学生は3~4週にわたってグループ討議と自学自習を組み合わせ、協力してシナリオに含まれる問題点や患者の病状や背景を解析するとともに、チームとしてできる最善の対応策や治療法・ケアを提案します。学部横断型のPBLチュートリアルを繰り返すこと

により、問題抽出・解決能力、コミュニケーション能力、自学自習の習慣などとともに、チーム医療の進め方やルールも身に付けていきます。

看護学科 作業学科 薬学部



1 年生 PBL



3 年生 PBL

今後、卒後研修まで含めたチーム医療のカリキュラムを整備し、昭和大学の理念の実現を目指し、卒業後には誰もが円滑に医療チームを形成し、協調して患者のために積極的に活躍できる医療人を養成する計画です。